

令和6年度予算算定額 8億8,748万円（令和5年度 9億5,286万円 /6,538万円減）

区長自由経費 4億818万円（令和5年度 3億7,057万円 / 3,761万円増 ※うち追加予算 6,414万円）

区CM自由経費 4億7,930万円（令和5年度 5億8,228万円 / 1億298万円減 ※うち局事業の移行に伴う減 9,782万円）

- 人と人とのつながりづくり、きずなづくりを進めるための施策・事業を中心に、限られた財源のもとで施策・事業の選択と集中の観点から重点投資分野を設けるなど、メリハリの効いた予算編成に努めた。
- 民間企業やさまざまな団体、地域、行政が一体となって協働する事業を重点的に、より西区の発展、地域活性化につなげる事業運営に取り組む。
また価格高騰などの新たな影響を受けたことによる経費を確保するため、既存事業費や区役所管理運営費などの見直しを行うとともに、引続き広告募集などの財源確保に取組み、前年度と同程度の予算要求を行っている。

◇区の重点事業

【安全で安心なまちづくりに向けたコミュニティ力の向上】

○地域コミュニティの活性化

学校再編整備計画の対象となっている九条東小学校の跡地について、防災・地域活動拠点機能を維持しながら活用方針を検討するため、（仮称）跡地活用検討会議を設置し、多方面から活用方法を調査するとともに、地域の意見を反映した活用方針を策定する。

（今後の九条東小学校施設の活用方針に係る調査事業 987万円）

○安全・安心で快適なまちづくり

自主防災組織による防災意識や災害対応力の向上に向けた西区全地域合同防災訓練を積極的に支援し、自衛隊や消防、警察をはじめ、行政と地域間のさらなる連携強化を図る。また災害時避難所における課題を踏まえ、女性や要配慮者の避難生活の環境改善に向けた備蓄物資のさらなる充実を図る。

（防災対策事業 870万円）

【こども・子育て施策の充実】

○安心して子育てや教育ができる環境づくり

さまざまな要因から不登校状態にある生徒に対し、自立に向けたサポートができるよう区内1中学校に「校内サポートルーム」をモデル設置し、支援員による生徒一人ひとりの状況などに応じた学習や自立活動を支援する。また、不登校生徒の保護者を孤立化させないつながりづくりや地域住民への理解を深めるため、ワークショップや講演会を開催し、学校・家庭・地域が一体となって見守り、支援するネットワークを構築する。

（不登校支援事業 69万円）

【区長の権限・責任の拡充と区民参画のさらなる推進】

○ニア・イズ・ベターを徹底するための区役所づくり

区政運営の取り組みや成果、区内のイベントや行政情報について、YouTubeチャンネルや広報紙、ホームページ、各種SNSなどさまざまな媒体を活用し、区民がよりアクセスしやすい環境を整備し、幅広く情報発信を行い、より伝わり、つながる広報を推進する。（広報事業 1,287万円）

2025年大阪・関西万博を身近で感じ盛り上げる「西区万博」において、西区の特性を活かし、食を楽しむバルイベントを開催する。

万博テーマである「SDG s」の啓発を感じさせる什器使用や物品配付、ごみ分別や食品ロスなどの広報を行い、また万博イメージソングなどを取り入れた歌やダンスなどで地域の団体や学生などを交え、地域振興や地域活性化を図る。（西区万博バルイベント事業 2,000万円）